

『名寄市アール・ブリュット展 2021(WEB版)』を開催します！

今年も障害者週間（12月3日(金)～12月9日(木)）にあわせ、市ホームページで「アール・ブリュット展」を開催します。色鮮やかな作品を多数公開していますので、ぜひご覧ください。
また、作品の一部を「多分野・多世代地域活動拠点ここほっと」にて、12月24日(金)まで展示しています。自由な発想と方法で生まれた「生(き)の芸術」を、間近でゆっくりとご鑑賞ください。

開催期間：12月3日(金)～12月30日(木)

～作品介绍～

ホームページで公開を予定している作品の一部を紹介します。



作者：石谷 ^{いしだに} 琴乃 ^{ことの} (名寄みどりの郷)
タイトル：夢の花

画 材：絵の具、紙
大 小：縦40cm×横55cm
説 明：みんなの夢をたくさん集めて、希望の花が咲きました。
目で見て触って楽しめる。思わず素敵な香りがしそうな、そんな一枚に仕上がりました。
みなさんの夢が叶いますように。



作者：わたなべ ^{くみこ} 久美子、まつえ ^{よしあき} 芳秋、原 ^{まさと} 雅人、尾関 ^{のぶあき} 信彰、みずき ^{もえ} 萌、小林 ^{けんた} 健太、三島 ^{むつこ} 睦子
(なよろ陽だまりの会)
タイトル：『なまはげ』

画 材：紙、ポスターカラー
大 小：高さ107cm×長さ1000cm
説 明：「なまはげ」をモチーフに、それぞれが思い思いに表現しました。
「なまはげ」にならい、人(自分?)のなまけ心を戒め、災いを払ってくれることを願っています。
長く、大きな「紙」に描かれ、どこかユーモラスさを感じさせる表情となっています。
似ているようだけれど、どれもどこか違っている。個性あふれる顔がいっぱいです。

※『アール・ブリュット』とは

フランス語で「生(き)の芸術」を意味し、正式な美術教育を受けず、既存の技巧や流派に流されることなく、自由な発想と方法により制作された作品を指します。

問い合わせ：基幹相談支援センター障がい相談支援係(名寄庁舎2階) ☎01654③2111(内線 3218)
※ご意見ご感想は✉ny-kikansoudan@city.nayoro.lg.jp までご連絡ください。